

お知らせ

'98 青少年のための科学の祭典全国大会

1998年7月25日～29日、科学技術館(東京 北の丸公園)において、「'98 青少年のための科学の祭典全国大会(入場無料ただし科学技術館常設展示は有料)」が開催されます。この祭典の後援組織のひとつである日本地質学会では、地質学普及教育実行委員会の協力により、以下の3件を企画しています。

【太古の地球への招待(その1～3)】

7月25日(土)、26日(日) [9:30～16:50] その1、その2は、最大24人までの定員制で、午前と午後1時間ずつです。その3は一日中です。

これからの地球規模での視野を有する人を育てるために、研究者、大学の教官と学生、小中学校教諭、科学研究サークル会員たちが協力して、この「地球の不思議」体験学習コースを実施します。実験や解説を通じて「地球と生命の進化の歴史や素晴らしさ」を学びます。また、「資源や環境問題についても、親子で一緒に学びながら考えてもらいたい」との願いも込められています。

その1. 鉄とマンガンのひみつ【ワークショップ】

＜担当者＞三田直樹・金井 豊(地質調査所)、鈴木邦夫(坂戸市立住吉中)、岡崎智鶴子・大石由樹子(十勝自然史研究会)、鈴木俊基・尾山洋一(東海大学)

＜要 旨＞35億年前に酸素ガスが発生し、近代文明を支える巨大な鉱床(鉱山)が誕生しましたが、微生物の働きのようなのです。天然のタイムマシン(?)と化学実験から考えてみます。

その2. 石灰岩のひみつ【ワークショップ】

＜担当者＞阿部国広・佐野速夫(川崎市立西有馬小)、小口正行(川崎市立稲田小)、西山久美子(川崎市立南河原小)、山本真弓(国際基督教大学高校)、平井陽子(幸手市立西中)、竹内 靖(東京大学)

＜要 旨＞太古の地球は炭酸ガスで満ちています。それが生物の働きで石灰岩に閉じ込められています。実験で使う2～3億年前の化石をプレゼント。

その3. 化石のレプリカをつくりましょう【ブース】

＜担当者＞神戸信和(日本大学)、三浦恵美(恐竜

倶楽部)

＜要 旨＞レプリカ作りを通じて、太古の地球の地層から発見される化石のひみつを探りましょう。

入場無料(ただし科学技術館常設展示は有料)

参加者の対象:特に制限はありません

交通(地下鉄):東西線「竹橋」駅下車(1B出口より徒歩7分)、半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車(2出口より徒歩7分)

連絡先:〒102-0091

東京都千代田区北の丸公園 2-1

(財)日本科学技術振興財団

科学技術館「科学の祭典」事務局

TEL. 03-3212-8447

FAX. 03-3212-8449

E-mail: shinko@jsf.or.jp

<http://www.jsf.or.jp/shinko/index.html> (制作中)



写真 Mamatwan マンガン鉱山(南アフリカ)は東西13km、南北35kmで約25億年前～22億年前に誕生した。撮影:北海道大学 三浦裕行氏。

